

感染症の爆発的拡大の中での「学び」をいかにしていくか？

4月に入学した皆さんは2度の「休校」を経験している。今再び、学校での「通常」の教育活動ができなくなりつつある。それでも1日は過ぎていく。登校して「得られるはずの学び」をいかに獲得していくか、みんなで考えてみたい。

授業にしろ自習にしろ全ての活動には目標がある。この1時間の活動で何を達成するのか。それを明確にすることが学習の第一歩である。授業をする際、私もつい「思考のワナ」に陥ってしまうことがある。それは「授業を進める」ことが目的化してしまうことである。みんなも同じような経験はないだろうか。何度も何度も同じような学習活動をしているとマンネリ化して、「授業を受ける」ことが目的化してしまうこと。「授業を進める」ことや「授業を受ける」ことが目的化すると、対面授業に勝るものはないだろう。同じ空間でみな緊張感を持てるのだから、これ以上の授業体験はないだろう。では、「問題集の問題を何も見ないでひとりで解けるようにすること」が目標の場合はどうだろうか。この1時間でこの問題が独力で解ければ良い。これをゴールとしたら、オンライン授業も悪くないだろう。問題集を解けるようにするために「授業」を受けるわけだから、具体的で焦点化された目標の場合、さらに活動の時間が短ければ、人は集中力を発揮しやすい。登校して経験できる対面授業と同じ感覚でオンライン授業を受けると失敗する。

みんなは薄々気がついているだろう。勉強は家でもできる。でも、どうしてみんなは登校するのだろうか。学校の持っている最大の役割は何か。みんな自身の考えを聞かせてもらいたい。以下は私の仮説である。学校生活には生活リズムを整える「強制力」がある。「明日は〇〇時から〇〇があるから、朝は〇時に起きなければ・・・」こういった他者との約束によって生活リズムが整えられる。自宅にずっといると、このリズムを保つことがなかなか難しい。では、どうすればいいだろうか。これは、登校しなくても生活リズムを整えるためにはどうしたらいいかという問題である。人間に「強制力」をもたらすための最も手取り早い方法が「他人と約束」をすることである。友人と明日は〇時に□で会おうと約束して、簡単に約束を破る人はなかなかいないだろう。人と約束をすることは、強制力を生む最大の方法である。〇〇時まで〇〇をやって成果を〇〇と共有しようと言われれば、大抵の人がやるはずだ。だが、この期限を長くしてしまうと効果が薄れる。「1週間後までに〇〇をやること」と言われるよりも、「今から15分以内に〇〇をやること」と言われた方がはるかに物事を達成しやすくなる。オンラインでの活動が中心となる中でも「充実した生活」を手に入れる方法をいくつか紹介させてもらおう。

1、朝起きたら、1日の予定を作成しよう。←これはとても大切な活動

※グーグルカレンダーを使っての1日の予定管理術を紹介している。→

2、こまめに自分のやった成果(25分程度)を振り返り、他者に紹介しよう。

3、1日のうち外に出て散歩をしたり、筋トレをするなど体を動かし汗をかこう。

4、1日のうち強制オフラインの時間(例、食事、お風呂、読書)を最低でも3時間は確保して家族と会話をしよう。

5、1日の過ごし方に絶対的な「正解」はない。ただ、1日を振り返って「いい1日だったなあ」と少しでも思える日にしてもらいたい。

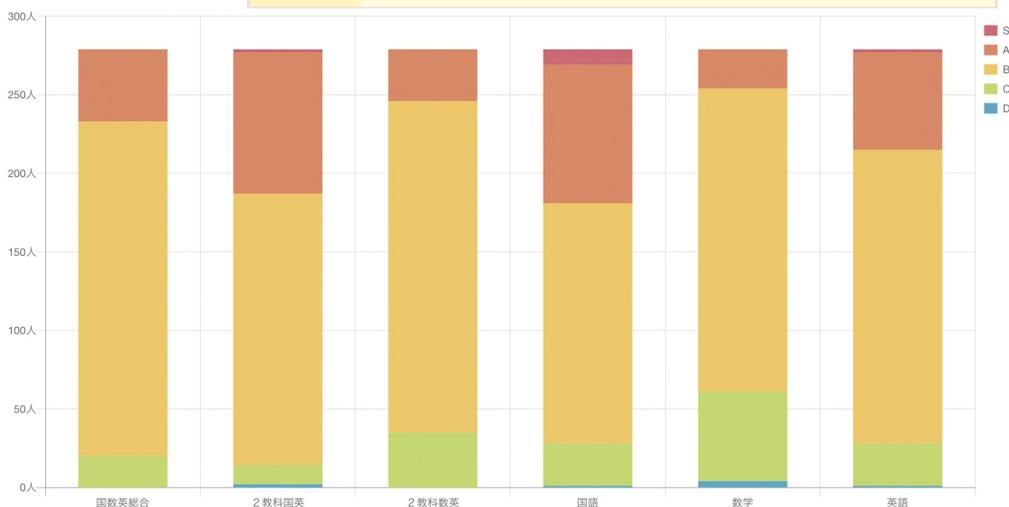
※来週以降の学校の予定もオクレンジャー・クラスルームにて配信されます。そちらをご確認ください。



7月10日（土）実施の進研記述模試の振り返り

個人成績表を返却しました。自分の得点状況を把握しながら、学習計画を立てよう。

1学年の学習到達度状況である。4月に受けたスタディサポートのランクと比較して成績はどうだっただろうか。3教科だと1学年のボリュームゾーンはB1とB2ランクである。自分の成績表と見比べて、自分の弱点を見直してみよう。数学で苦労している人が他の教科に比べて多い。問題演習を重ねていこう。



4月のスタディサポートと7月の進研模試の学習到達ゾーンを比較してみると・・・

進研模試	D3	D2	D1	C3	C2	C1	B3	B2	B1	A3	A2	A1	S3	S2	S1
S1															
S2															
S3															
A1								1				1			1
A2									3	2	1	2			
A3							2	3	10	14	4	1			
B1						1	11	21	32	9	8				1
B2						1	28	25	32	8	4				1
						1	9	7	8						
						1	3	3	2	1					
							4	2							
				1		1		1							

国公立大学や私立四年制大学への一般入試での進学を希望する場合、B1以上のゾーンに入りたい。

↑
7月の進研模試
↓

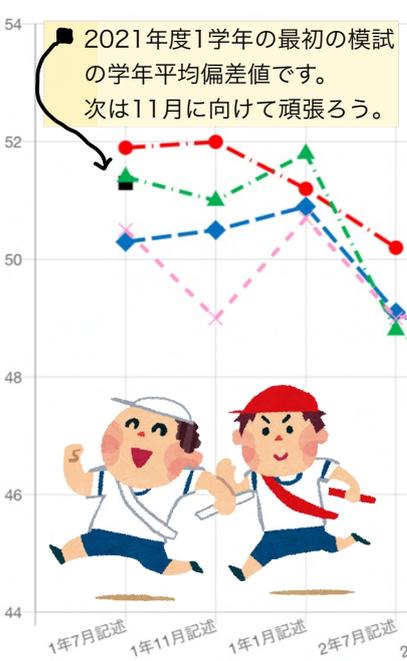
←4月のスタディサポートの学習到達ゾーン→

模試で「結果」を出すには「実力」を上げる必要がある。実力は学習習慣で決まる

全国の高校生と競争中

高校生活の中でこれから何度と模試を受けます。皆さんはそのスタートラインに立ちました。

2021年度1学年の最初の模試の学年平均偏差値です。次は11月に向けて頑張ろう。



模試は勉強の「全国大会」です。全国の高校生と「競争」しているわけです。学校の授業や課題を丁寧に取り組むだけでなく、「自分を高めるための勉強」をどれだけできるかが大切です。勉強で最も大切なのは量（時間）です。圧倒的な勉強量（時間）を確保してやると成果は出ます。いきなり12時間の勉強は難しいですが、まずは学校の授業時間と同じ6時間は取り組めるといいですね。みんなで1日1日を大切に乗り切っていきましょう。次の進研記述模試は11月に実施されます。その前に10月には学習到達度テストも実施されます。年間を通してかなりの数の模試を受けます。日常の学習習慣が非常に大切です。毎日を計画的に過ごしましょう。早速、模試の復習をしましょう。

